

子育て支援だより

「子育てワンポイントアドバイス」

第208回 『脳性麻痺』

作業療法士 塩津 裕康

作業療法士の塩津です。これまで発達障害について説明してきました。今回は、「脳性麻痺」について記事を書きます。脳性麻痺を有する方は世界で1700万人とされています。発達障害の記事からそうですが、多様な人々について理解し合うことを目的としてこの記事を書いています。

1. 脳性麻痺って何？

脳性麻痺は何か決まった一つの疾患をさすのではなく、『運動と姿勢』の問題を主とする疾患の総称のことをいいます。そのため、脳性麻痺のある状態に至るまでには、さまざまな背景があるわけです。

最近では、『運動』に関してもスペクトラムという捉え方もされ始めています。これは自閉スペクトラム症の記事の中でも説明しましたが、スペクトラムとは「連続体」という意味です。つまり、何か基準点があって「障がい・正常」と二分する考えではありません。運動や姿勢の苦手さにも得意／不得意があり、不得意な子どもには配慮や支援してあげましょうというごく当たり前の考えで捉えることが大切です。

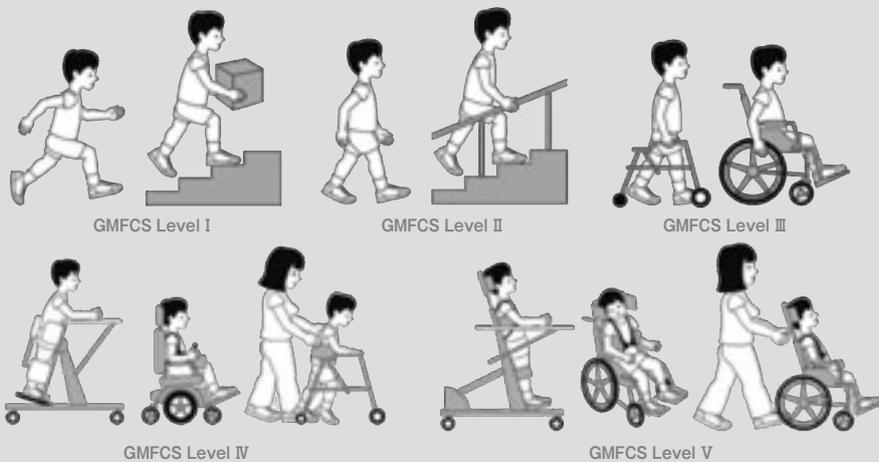
2. 運動スペクトラムの幅が広い？

脳性麻痺と診断された子どもにおいても、症状の幅が広いです。麻痺は部位と麻痺の種類によって分類されることが多いです。

1) 部位：部分的（片方の手足、両手両足など）、全体的

2) 麻痺の種類：痙直型（運動に硬さがある）、アトニーゼ型（運動が硬くなったり力が抜けたり変動がある）など

移動レベルもさまざまで、補助具なしで歩ける子どももいれば、歩行器が必要な子ども、車椅子で介助が必要な子どもなどさまざまです（イラスト参照）。



GMFCS Illustrations 6-12: © Bill Reid, Kate Willoughby, Adrienne Harvey and Kerr Graham, The Royal Children's Hospital Melbourne.
(イラスト：Cerebral Palsy Alliance)

3. 子どもの発達に重要なこと

近年、子どもの発達を支えるうえで重要になることとして、F-words（Fワーズ）という考え方が示されています。それは、1) 機能性 function、2) 家族 family、3) 運動 fitness、4) 友達 friends、5) 楽しむ fun、6) 将来 futureの6つです。どうしても、マイノリティの枠に当てはめようとしてしまいがちですが、子どもたちそれぞれの『F』を支えてあげることが大人の役割だと思います。

※塩津作業療法士は、あさひ園で個別療育相談、朝日小学校で巡回相談を行っています。

4月の子育て支援事業



日程	時間	事業名	内容	対象	場所	予約	担当
4/11(火)・14(金)・18(月)・21(金)・25(月)・28(金)・5/2(火)・9(月)・12(金)	10:00-12:00	あそび場	スキンシップ・ストレッチなどの遊	発達 が ゆっ くり の 子 ども と 保 護 者	ほっとくらぶ	不 要	ほっとくらぶ (377-3522)
4/19(水)・5/17(水)		ほっとする 親の会	茶話会				

*最終ページに子育て健康課の子育て事業を掲載していますので、ご覧ください。

*お問い合わせは、各担当者にご連絡ください。